

THE UKI NEWSLETTER

令和4年度に全面リニューアルオープンを予定 「道の駅不知火」のこれから



国道266号沿いに位置する「道の駅不知火」。目の前に不知火海を一望できる

施設の再生を目指す

「道の駅不知火」の指定管理者が撤退することが決まりましたが、施設の所有者である市は、今後全面改装を行い、令和4年度中にリニューアルオープンすることを計画しています。

それに先立ち2月5日(金)に、一時休館していた物産館の営業を再開する予定です。
☎ 商工観光課 ☎32-1604

指定管理者制度

平成15年の地方自治法改正により、「管理委託制度」に代わり「指定管理者制度」が創設。公共的団体や第3セクターなどに限定されていた公の施設の管理を、民間事業者も行うように。民間の経験やノウハウを幅広く活用できるようになった。

「道の駅不知火」のこれまで

平成8年4月、「道の駅不知火」(不知火温泉ふるさと交流センター)は、健康や福祉の増進、地域の活性化などに寄与することを目指してオープンしました。

旧不知火町は「管理委託制度」を利用し、第3セクターとして設立した不知火温泉有限会社に運営を委託。同社は平成15年に「指定管理者制度」に移行した後は指定管理者として運営を行ってきました。

25年前のオープン当時は温泉施設が近隣の市町村にも少なく、健康ブームを追い風に温泉・物産館・レストランを合わせた来客者が年間40万人を超えるなど、多くの人でにぎわっていました。

その後も、物産館とレストランの利用者は増加していましたが、県内各地に新たな温泉施設が増え

たことで、温泉利用者は年々減少。平成28年の熊本地震後に一度は回復したものの、平成30年度にはオープン時の約半数まで落ち込みました。
それにより、売り上げも減少。加えて、施設の修繕費や光熱水道費などに多額の維持管理費が必要となるなど、近年は安定した経営が困難な状況でした。

令和4年度にリニューアル

「道の駅不知火」は、「道の駅」としての役割と、地元のシンボルである地域交流施設という2つの役割を担ってきました。リニューアル計画でも、これらの機能向上に努めつつ、コロナ禍に求められる新しい観光スタイルに適応し、新たな付加価値を加えることで「心のオアシス」を提供できるよう進めています。
また、宇城市観光戦略のター

ゲットである「家族連れ層」に向けて魅力を強化し、併せて物産販売と雇用も促進していきます。令和4年度には、「道の駅」としての利便性を向上し、リニューアルオープンする予定です。

「道の駅」の機能である休憩所・トイレ・駐車場は引き続き利用できます。また、2月5日(金)には、一時休館していた物産館が営業を再開する予定です。

新型コロナウイルスのクラスターについて

宇城市内で、新型コロナウイルス感染症のクラスターが3例発生しましたが、いづれで誰が感染してもおかしくありません。感染者が確認された事業所や病院などの職員、関係者、その家族の皆さんに対し、誤解や偏見からの差別的な言動は、絶対にあってはなりません。今後も、正確な情報に基づいて冷静に行動してください。

クラスターの関係者については熊本県が検査を実施しています。1月22日までの検査状況は次のとおりです。

宇城総合病院

区分	検査済	陽性	陰性	(人)
患者	292	9	283	
職員など	377	3	374	
計	669	12	657	

PeachTree2熊本松橋店

区分	検査済	陽性	陰性	(人)
従業員	15	7	8	
利用者	46	7	39	
計	61	14	47	

有料老人ホーム つばさ

区分	検査済	陽性	陰性	(人)
入所者	22	13	9	
職員など	24	7	17	
計	46	20	26	

宇城総合病院に衛生用品を提供しました

市は1月12日、宇城総合病院にアルコール消毒液などの衛生用品を提供しました。

これは、宇城市内における新型コロナウイルス感染症の感染者が急激に増加していることを受けて、宇城管内の指定医療機関である同病院の医療体制確保と、医療従事者や入院患者などの感染対策に役立ててもらおうと提供した

のです。

同病院の江藤雅之事務部長は「今回の物資提供は大変ありがたい。引き続き、指定医療機関として、地域のニーズに応えられるよう全力で対応していきたい。」と話していました。



江藤事務部長(右)に渡しました

宇城市健康フェアは中止します

例年3月に開催していた「宇城市健康フェア」は中止します。自宅でも手軽にできる、市オリジナルの「うきうき体操」、食事のときの「さしより野菜」で免疫力アップと健康維持に努めましょう。

うきうき体操

市公式クックパッド

宇城市保健福祉センター

☎(32)7100

松橋東防災拠点センター

ご利用ください

12月から利用開始した松橋東防災拠点センターには、2つのコミュニティ室に10部屋の研修室(うち和室が2部屋)などを備えています。コミュニティ室は有事の際は避難所となりますが、平時はヨガやストレッチなどの活動の場としても利用できます。



広々としたコミュニティ室

研修室の収容人数は最大60人。人数や利用内容に合わせて選択できます。料金や利用時間の詳細については、市のホームページでご確認ください。



新しい調理器具も充実

松橋東防災拠点センター

☎(34)3900